



国際理解や国際交流に特化した本が並ぶ図書資料室

なんとかるたも!



華やかな民族衣装は見るだけでも楽しい♪



多様性を学ぶ場

JICA 沖縄図書資料室

JICA 沖縄の図書資料室は国際理解や国際交流、世界のウチナーンチュをはじめとする日系移民にまつわる資料が充実し、近年はSDGs 推進にも力

を入れています。小中学生向けのコーナーには世界の国々を紹介する本がずらりと並びます。各国の絵本や紙芝居もあり、小さな子どもでも楽しめそう。本を通して世界が抱える問題やその多様性に触れてみましょう!

開室時間 / 10:00~20:00(月~金)
10:00~18:00(土)
休室日 / 日・祝日・年末年始
【入場無料】
浦添市字前田 1143-1
☎098(876)6000



民族衣装ずらり

JICA プラザ

図書資料室隣の JICA プラザには色とりどりの民族衣装や各地の楽器がずらり。異国情緒あふれる衣装を見て遠い国に思いをさせてみてはいかが? ※コロナ対策で現在は試着不可



パネルで移民の歴史や暮らしを紹介



ルーツ調査を手助け

県立図書館

県立図書館郷土資料エリアには移民資料コーナーがあり、貴重な資料がたくさん納められています。移民先の歴史や文化、移民1世のライフストーリーなどをパネルで紹介しており、多角的に世界のウチナーンチュについて学ぶことができます。

同館では集めた資料を基に移民1世の名前や渡航日、出身地域を探す「沖縄県系移民1世ルーツ調査」も実施。海外から沖縄を訪れた県系人のルーツ探しを手助けし、親戚につなぐ役割も担っています。

開館時間 / 9:00 ~ 20:00
休館日 / 火・年末年始
特別整理期間
【入場無料】
那覇市泉崎 1-20-1
☎098(894)5858



現地の暮らし紹介

南風原文化センター

南風原文化センターは、地域の資料館としては珍しく、常設展示に移民資料室があります。南風原では第1回ハワイ移民を皮切りに1800人以上が戦前戦

後、海を渡りました。資料室には移民先での町出身者の暮らしぶりを展示。現地の写真や南米移民を募集するポスター、パスポートなどが所狭しと並び、質素な暮らしを支えた移民の底力が実感できます。

開館時間 / 9:00 ~ 17:00
休館日 / 水・年末年始
【入館料】一般 300円、中高生 200円
小学生 150円 ※南風原町民は無料
南風原町喜屋武 257
☎098(889)7399



沖縄県の海外移民は1899年のハワイ移民から始まりました。戦前、7万5千人もの県人が海を渡り、移民先から送金して貧しい沖縄の経済を支えました。戦後の沖縄は米軍による土地の強

制接収で生活の場が減少する一方、日本本土や海外からの引き揚げで人口が急増しました。仕事や生活をするのが困難になる中、再び海外移住が始まりました。海を渡ったウチナーンチュは

戦前戦後を通し、苦勞を重ねてきました。現在は移民1世の孫、ひ孫の世代となっています。彼らもまたウチナーンチュとしての誇りを胸に、沖縄の文化や歴史を守り伝えていきます。

(毎月第1週掲載。次回から12、13頁に掲載)